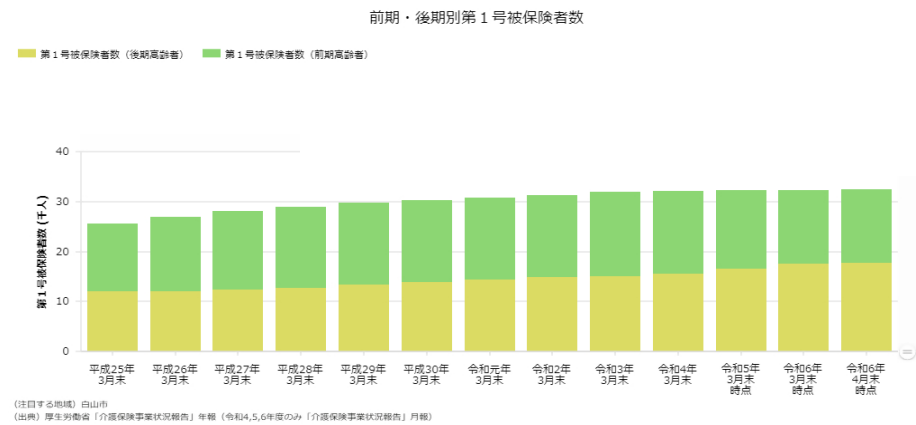


介護保険事業の状況 【A市・石川県・全国との比較】

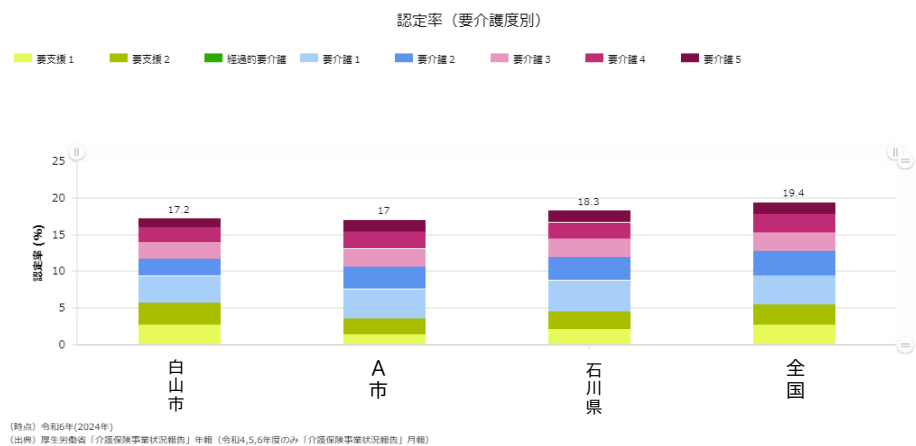
- ◆分析に活用したデータ
- 地域包括ケア「見える化」システム 現状分析
～介護給付費の視点より～
- ◆分析方法
- 県内の同規模保険者（A市）、石川県、全国との比較
- ◆白山市の特徴
- 平成17年2月に1市2町5村が合併して誕生。
 - 日本海から白山まで含み、石川県内で最も面積が広い。
 - 令和6年3月末の高齢化率は28.8%となっているが、一部の地域（白山ろく地域）では、50%を超えている。
 - 介護サービス事業所や医療機関は平野部に集中している。
 - 介護人材の確保は全事業所の課題となっているが、白山ろく地域では、利用者の減少も加わっている。

1. 白山市の第1号被保険者数の推移



第1号被保険者数は年々増加しているが、団塊の世代が65歳に達した平成27年以降は伸びが鈍化し、この傾向は継続している。後期高齢者数が年々増加し、令和5年度より前期高齢者と後期高齢者数の割合は逆転している。

2. 認定率の比較

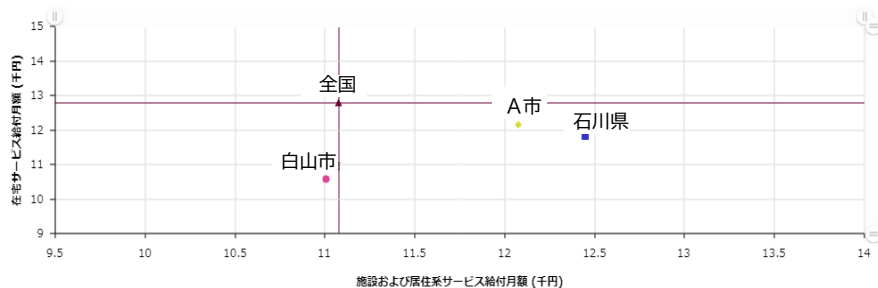


認定率はA市・県・全国を下回っている。要支援1,2の占める割合は、A市・県・全国よりも大きい一方で、要介護1～5の割合は小さい。日常生活での支障が比較的少ないうちから予防的にサービスを利用する方が多いと思われる。

3. 在宅サービス給付月額と施設および居住系サービス給付月額（1人あたり）

第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス・施設および居住系サービス）

■ 白山市 ■ A市 ■ 石川県 ▲ 全国



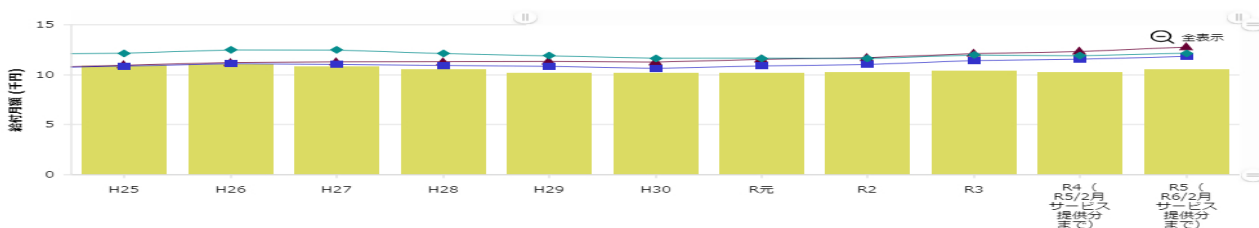
(時点) 令和5年(2023年)
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

石川県は全国でも施設サービスの充足率が高い位置にあり、白山市・A市・県ともに施設等サービス給付月額は全国を上回っていたが、令和5年度は白山市は下回っている。在宅サービス給付月額については、白山市・A市・県ともに全国を下回っており、中でも白山市が最も低い。

4. 1人あたりの在宅サービス給付月額の比較

第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス）

■ 第1号被保険者1人あたり給付月額（在宅サービス） ▲ A市 ■ 石川県 ◆ 全国



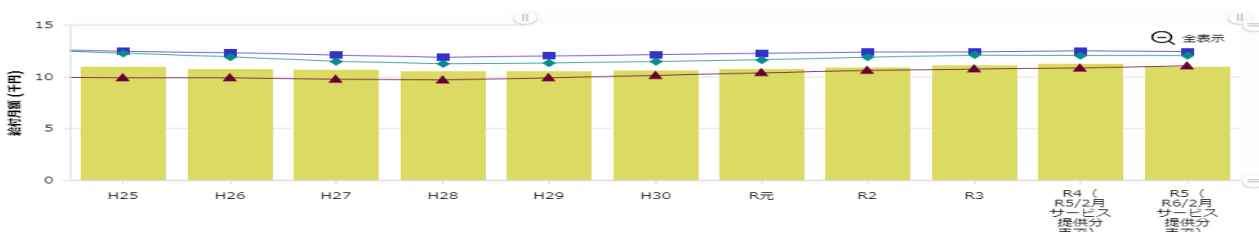
(注目する地域) 白山市
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

A市・県・全国とほぼ同じ水準で推移していたが、平成27年度より白山市が下回わり、差が広がっている。

4-2. 1人あたりの施設および居住系サービス給付月額の比較

第1号被保険者1人あたり給付月額（施設および居住系サービス）

■ 第1号被保険者1人あたり給付月額（施設および居住系サービス） ▲ A市 ■ 石川県 ◆ 全国

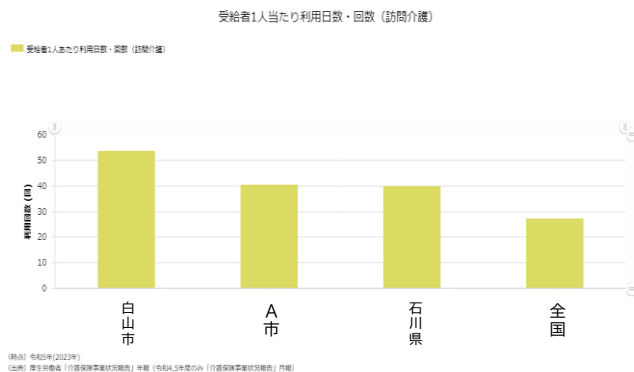
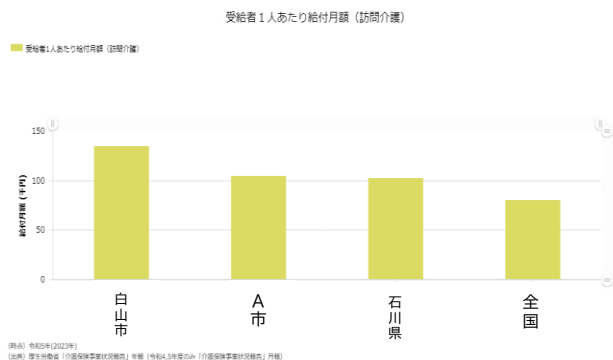


(注目する地域) 白山市
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4,5年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）

1人あたりの施設等サービス給付月額は、A市・県・全国より低い。全国との差が縮まり、令和5年度に下回った。

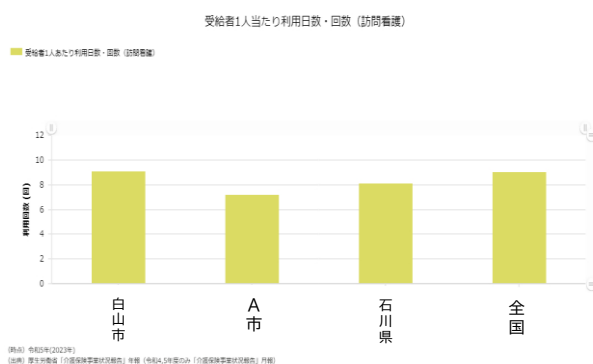
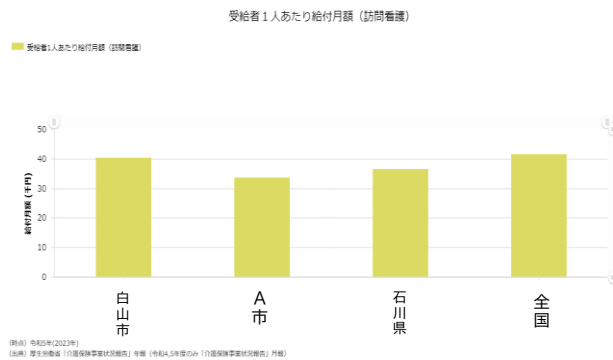
5. サービス毎の比較

①訪問介護



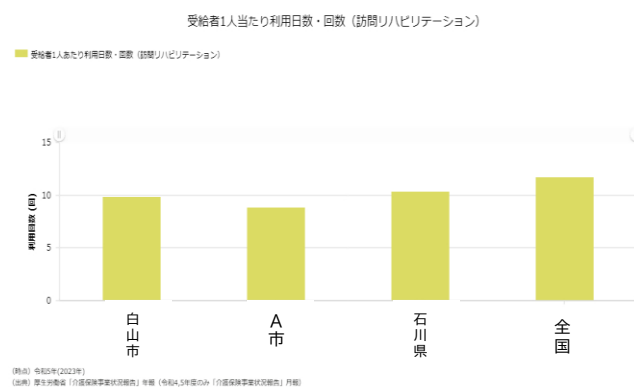
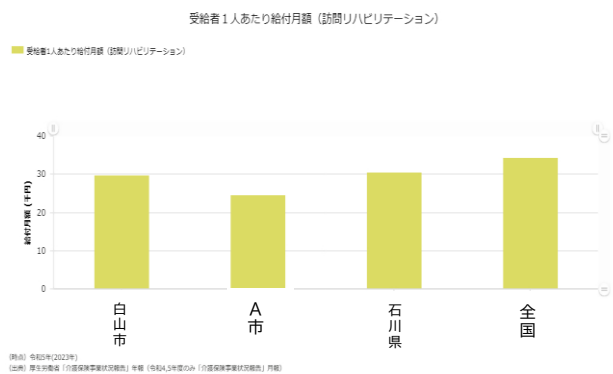
給付月額・利用回数共に、A市・県・全国を大幅に上回っている。有料老人ホームが8カ所ある他、近隣にも多数あることから、利用が多くなっているのではないかとと思われる。

②訪問看護



給付月額は全国をやや下回っているが、利用回数は、A市・県・全国を上回っている。訪問看護ステーションが8事業所あり、利用しやすい環境にあるためと思われる。

③訪問リハビリテーション

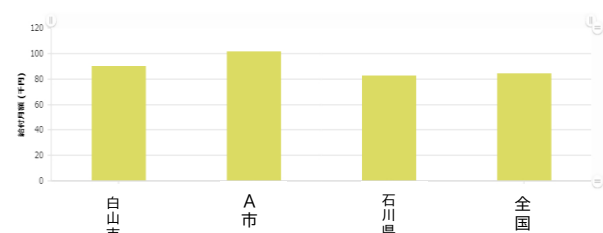


給付月額・利用回数共に県・全国を下回っているが、A市を上回っている。

④通所介護

受給者1人あたり給付月額（通所介護）

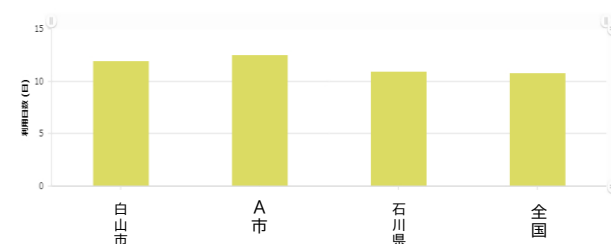
■ 受給者1人あたり給付月額（通所介護）



(期別) 令和5年(2023年)
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4.5年度のみ「介護保険事業状況報告」内報）

受給者1人当たり利用日数・回数（通所介護）

■ 受給者1人当たり利用日数・回数（通所介護）



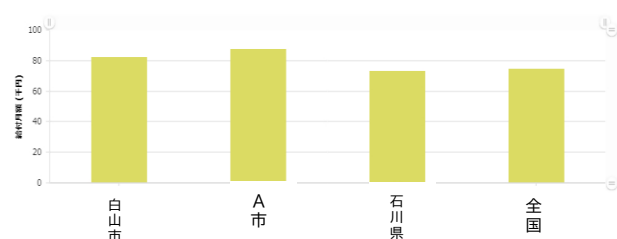
(期別) 令和5年(2023年)
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4.5年度のみ「介護保険事業状況報告」内報）

給付月額・利用日数共に、県・全国を上回り、A市を下回っている。市内に27事業所あり、近隣にも多数あることから、利用が多くなっているのではないかとと思われる。

⑤地域密着型通所介護

受給者1人あたり給付月額（地域密着型通所介護）

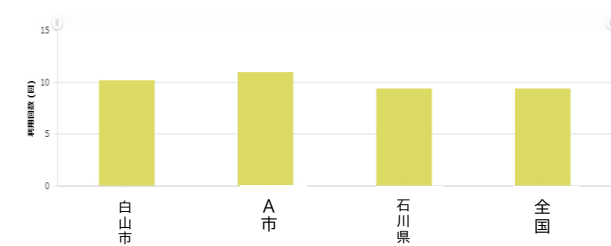
■ 受給者1人あたり給付月額（地域密着型通所介護）



(期別) 令和5年(2023年)
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4.5年度のみ「介護保険事業状況報告」内報）

受給者1人当たり利用日数・回数（地域密着型通所介護）

■ 受給者1人当たり利用日数・回数（地域密着型通所介護）



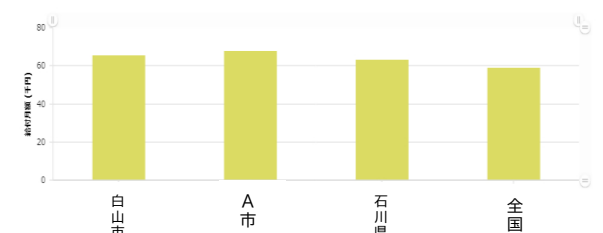
(期別) 令和5年(2023年)
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4.5年度のみ「介護保険事業状況報告」内報）

給付月額・利用日数共に、県・全国を若干上回り、A市を下回っている。

⑥通所リハビリテーション

受給者1人あたり給付月額（通所リハビリテーション）

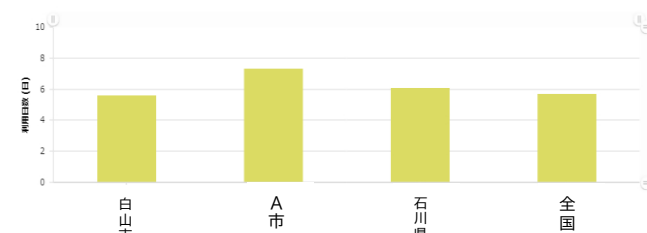
■ 受給者1人あたり給付月額（通所リハビリテーション）



(期別) 令和5年(2023年)
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4.5年度のみ「介護保険事業状況報告」内報）

受給者1人当たり利用日数・回数（通所リハビリテーション）

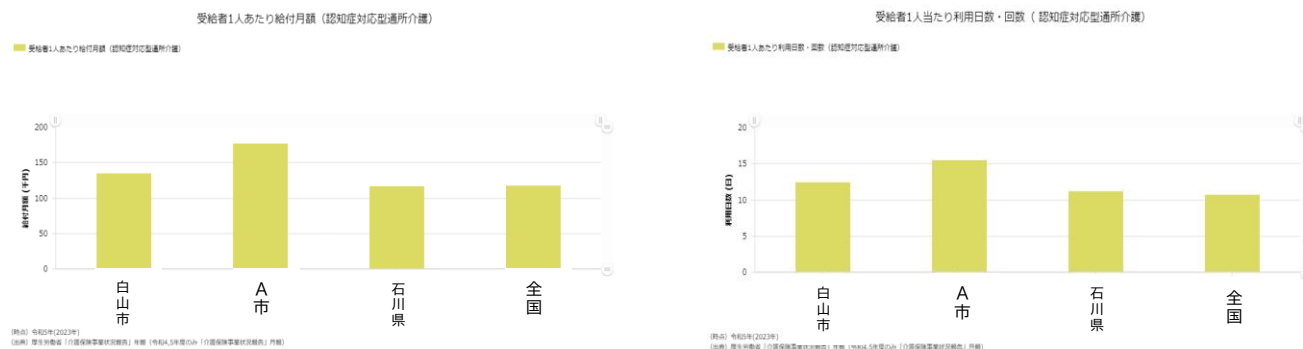
■ 受給者1人当たり利用日数・回数（通所リハビリテーション）



(期別) 令和5年(2023年)
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4.5年度のみ「介護保険事業状況報告」内報）

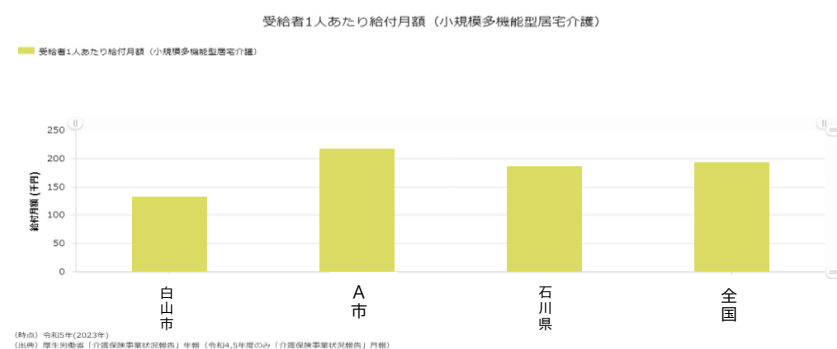
給付月額は県・全国を若干上回り、A市を下回っている。利用日数はA市のみでなく、県・全国のいずれよりも下回っている。比較的介護度の高い利用者が多いのではないかとと思われる。

⑦認知症対応型通所介護



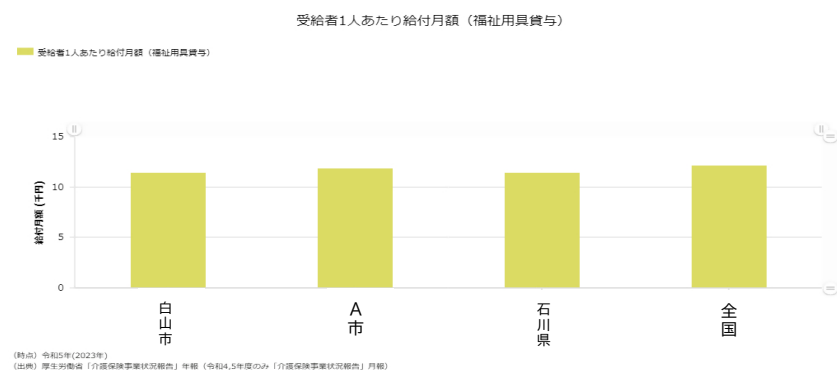
給付月額・利用日数共に、A市より下回るが、県・全国を上回っている。市内に単独型1事業所、共用型5事業所があり、利用者は微妙に伸びる傾向にある。

⑧小規模多機能型居宅介護



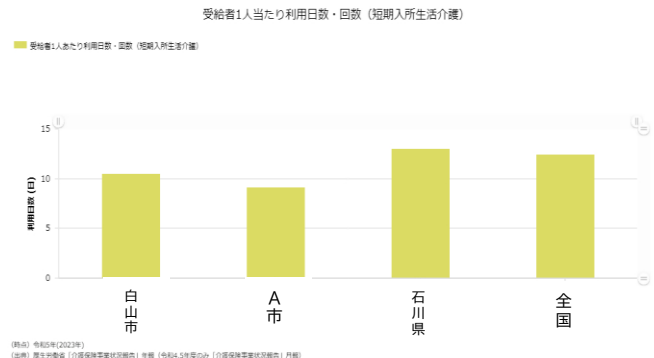
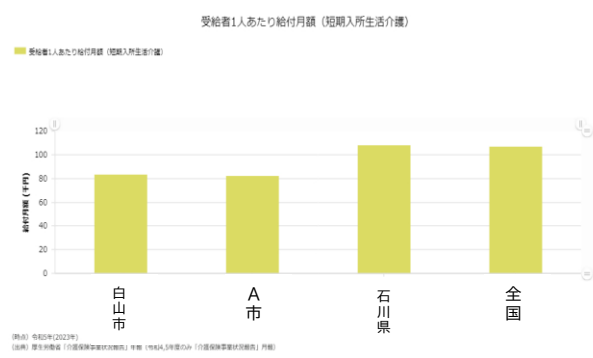
給付月額はA市・県・全国を下回っている。市内に3事業所しかなく、利用者数が伸びていないことが要因と思われる。

⑨福祉用具貸与



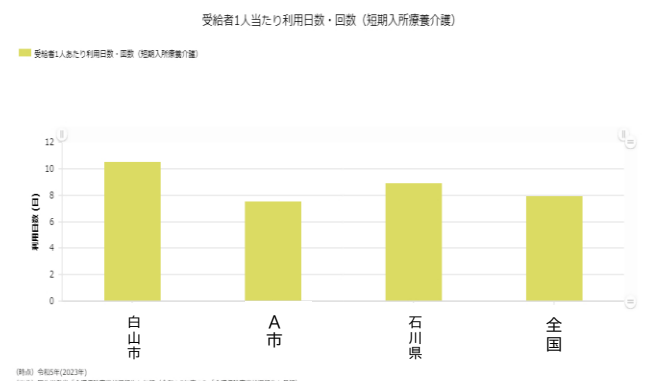
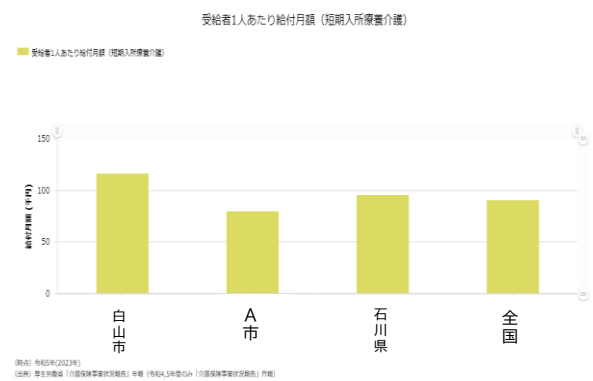
給付月額はA市・県・全国とほぼ横並びとなっている。

⑩短期入所生活介護



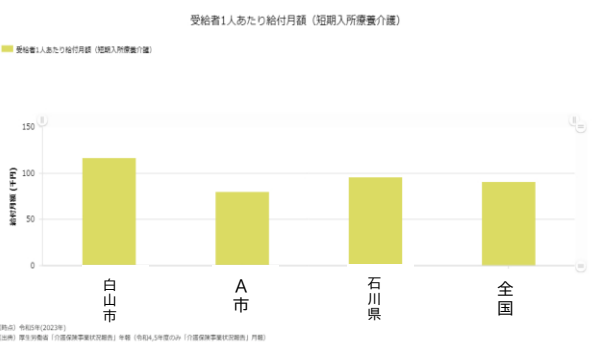
給付月額・利用人数共に県・全国を下回っているが、A市を上回っている。

⑪短期入所療養介護



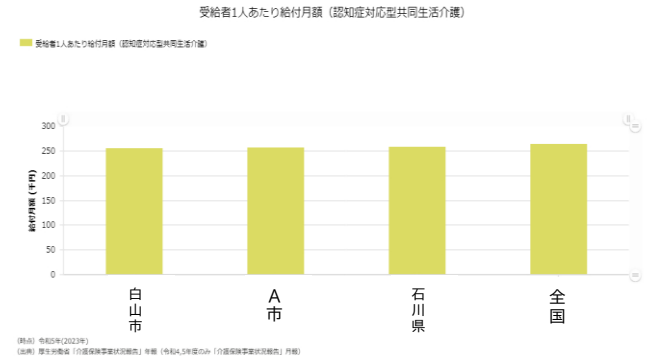
給付月額・利用人数共に県・全国を上回っている。市内に2施設あるほか、近隣にも施設があるため、利用しやすい環境にあるためと思われる。

⑫特定施設入居者生活介護



給付月額はA市・県・全国を上回っている。
市内に4施設（いずれもケアハウス）がある。

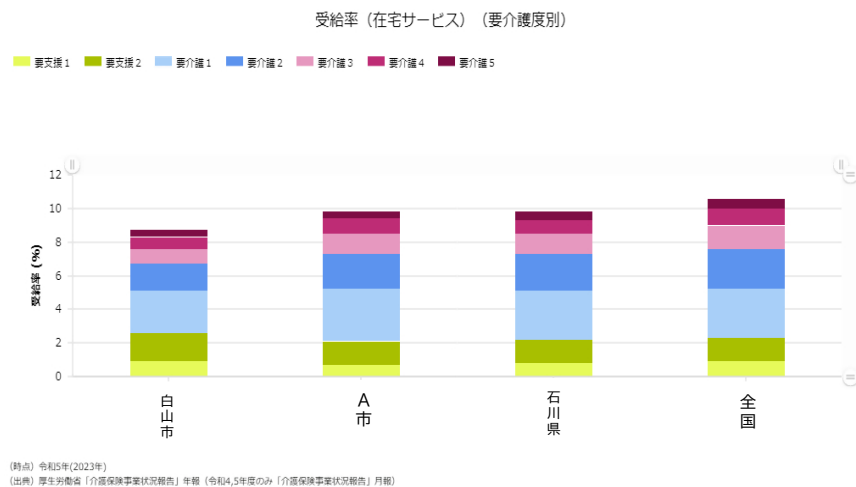
⑬認知症対応型共同生活介護



給付月額はA市・県・全国とほぼ横並びとなっている。

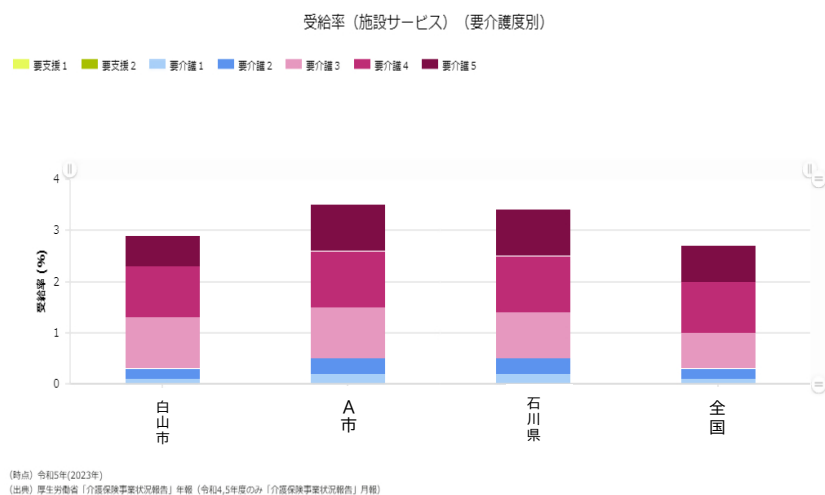
6. 介護度別受給率の比較

①在宅サービス



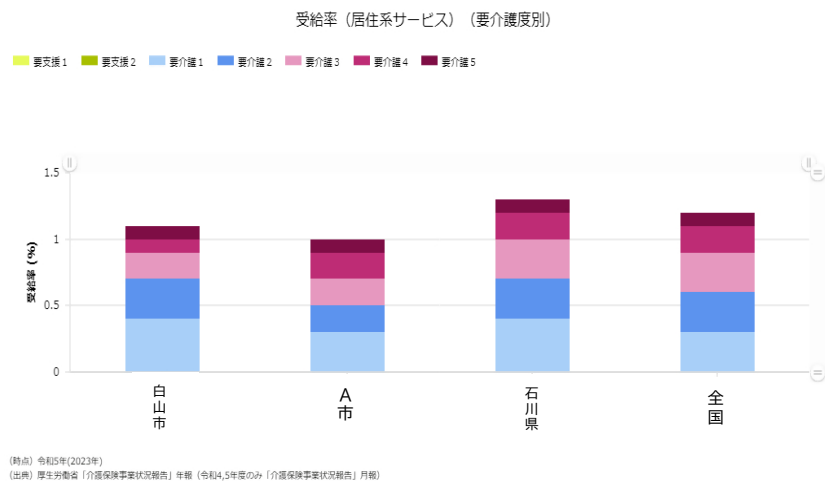
要支援の利用率は、A市・県・全国と比較して受給率は高くなっている。要介護1～5についてA市と比較した場合、どの介護度においても受給率は本市の方が低くなっている。

②施設サービス



全体では、全国を上回っているが、A市・県を下回ってる。A市と比較した場合、特に要介護5の受給率については、本市が大きく下回っている。

③居住系サービス



全体では、県・全国を下回っているが、A市を上回ってる。A市と比較した場合、特に要介護1・2の比較的軽度の利用者が多い。